

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEIF東仙台		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 3日		～ 令和8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 2日		～ 令和8年 2月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	質の高い支援	日々の支援振り返りから当日の支援における役割分担や支援方法をチームで密に話し合いを行い、利用者個々に合わせた質の高い活動を意識して行っている。	連絡共有ツールの有効活用からの連携強化。
2	事業所内の視覚支援ツールの充実	ホワイトボードやストップウォッチにて時間管理や活動スケジュールなど、利用児童が自ら確認し行動に移すことができる環境に整えている。	利用児童の特性を把握した上で、適切な視覚支援の在り方を事業所内で模索していく。
3	バリエーションある活動プログラム	通常活動のみならず、祝日におけるイベント実施等、様々な活動プログラムを企画立案している。	活動のマンネリ化につながらないよう、変化と改善を加えながら、活動の組み立てを行うよう意識していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域連携の機会が少ない	学校や地域住民、児童館との関わりにおいて、積極的な連携を取れるような関係性や仕組みがない。	地域連携の強化に向けて、事業所見学の間口を大きく広げ関係各所との積極的な連携を図れるようにしていく。
2	保護者との交流の機会が少ない	保護者会に対するニーズの把握ができていない。	親子参加イベントなどを通して、保護者会の実施やニーズを把握につなげていく。
3	保護者向けの定期的な情報発信	日々の活動における保護者連携は密にとっているが、情報発信ツールなどの活用が不十分。	紙面やSNSを通じた情報発信の充実を図る。